トランスサイレチン遺伝子検査の業務手順

熊本大学病院からの場合

主治医（脳神経内科または循環器内科）

黒伝票記載
　外注検査の部分を遺伝子検査と修正
　検査項目にトランスサイレチン遺伝子検査と記入
　血に丸
依頼書作製
医局採血指示書作製
同意書（アミロイドーシスの病型分類と臨床症候の特徴に関する研究 ）作製
スキャナ保存

↓

看護師（病棟または外来処置室）

血液（EDTA2Na 2 ml 1本）採血
（血清 茶 10 ml 1本も採血）, 常温
脳神経内科クラーク（茂田さんに連絡, PHS 78870）
黒伝票の医事課入力用を入院・外来会計担当へ発送
黒伝票の外注検査受付書以下を検体に添付

↓

脳神経内科クラーク

遺伝子検査室へ提出：
　血液, 黒伝票の外注検査受付書以下, 依頼書
（脳神経内科へ提出：血清, 依頼書, 同意書）

↓

遺伝子検査室

患者名の匿名化（例 TTR20190401熊本大学山下50M, 日付は申込書の依頼日）,
整理番号登録（例K19001, 後日山下が連絡）
遺伝子解析
報告書作製（脳神経内科 山下太郎補助）
主治医（病棟または外来へ）へ報告
（主治医がスキャナ保存）
黒伝票の外注検査実施報告書を入院・外来会計担当へ

↓

会計 医事課総務課

黒伝票の医事課入力用に基づき算定（依頼時）

院外からの場合

主治医（院外）

依頼元病院の医療事務担当者に連絡
依頼書作製
同意書（アミロイドーシスの病型分類と臨床症候の特徴に関する研究 ）作製
血液採取(EDTA2Na 2 ml 2本, 常温)
（患者様と審査支払機関に費用を請求）
血液を発送
(血清や組織は必要に応じて発送)

↓

熊本大学病院 脳神経内科 クラーク

検体受け取り
遺伝子検査室へ、血液、依頼書を発送
医療事課医事総務担当へ、依頼書のコピーを発送
脳神経内科へ、依頼書、同意書を発送
（血清や組織があれば脳神経内科へ発送）

↓

遺伝子検査室

血液、依頼書の受け取り
患者名の匿名化（例 TTR20190401熊本大学山下50M 日付は申込書の依頼日）
整理番号登録（例K19001, 後日山下が連絡）
遺伝子解析
報告書作製（脳神経内科 山下太郎補助）
報告書発送（脳神経内科 山下太郎へ）

↓

脳神経内科

報告書の発送：主治医（院外）へ
報告完了を医事課総務担当へ連絡

↓

医事課 医事総務

依頼書の到着時に依頼元病院医療事務担当者に連絡
検査終了時に依頼元病院医療事務担当者に請求